

マダニが媒介する感染症（「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」）
の注意喚起について

県内において、6月16日、今年に入り初めての重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生が確認されました。

感染経路：主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。

症 状：発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）を主徴とし、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状を伴う。
血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素（AST、ALT、LDH）の上昇が認められる。
致死率は10～30%程度

潜伏期間：6～14日

治療、予防：現在のところ有効な薬剤やワクチンはない。

ダニに咬まれない対策

咬まれたり、症状が出た場合は、早期に医療機関を受診のこと。

図1 2013年3月4日以降に発症したSFTS症例の発症時期
（全国 N=237,2017年5月30日現在）
（徳島県 N=21,2017年6月16日現在）

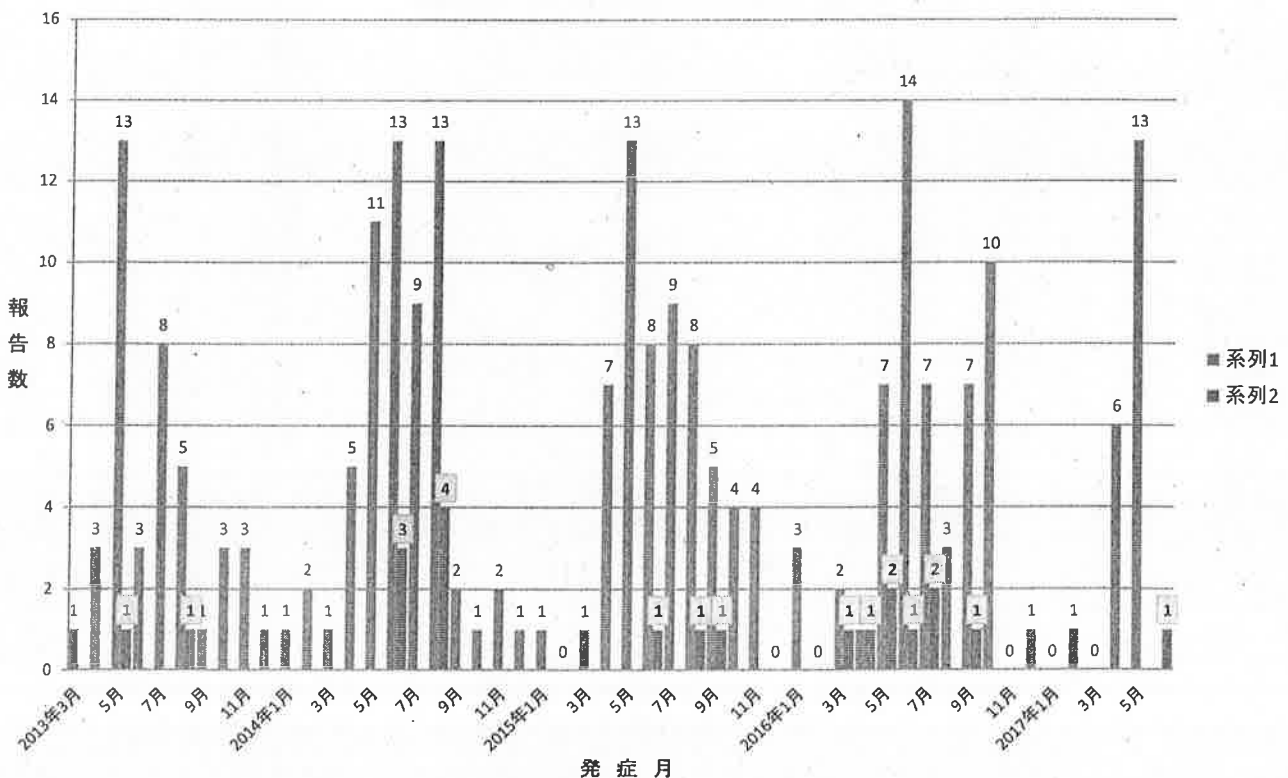


図2 SFTS症例の届出地域 (N=250, 2017年5月30日現在)



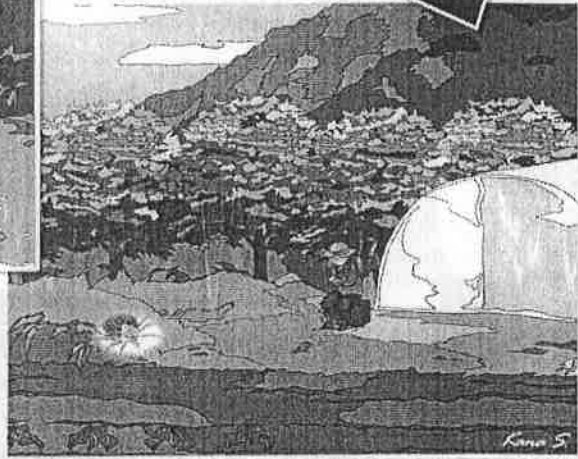
届出 都道府県	症例数
石川県	2
三重県	5
京都府	3
兵庫県	2
和歌山県	8
鳥取県	5
岡山県	5
広島県	20
山口県	22
徳島県	20
香川県	3
愛媛県	23
高知県	25
福岡県	10
佐賀県	3
長崎県	14
熊本県	7
大分県	9
宮崎県	39
鹿児島県	24
沖縄県	1

1. マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

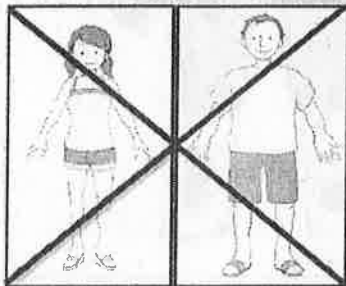
マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



2. マダニから身を守る服装

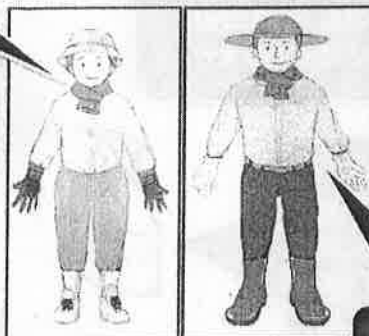
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。



半ズボンやサンダル履きは不適當です！

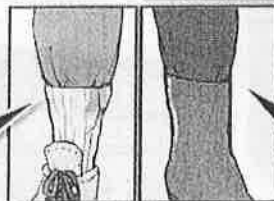
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



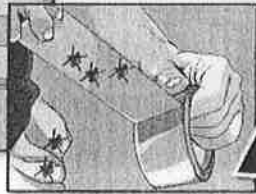
農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に忌避剤(虫よけ剤)が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ（ダニ目ツツガムシ科）を忌避する用途で、衣服に塗布して使用する忌避剤（医薬品）が複数市販されています。

このような忌避剤を使用し、マダニに対して一定の忌避効果が得られることが確認されました。



ディート（忌避剤）の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

マダニが媒介する新しい感染症 SFTS(重症熱性血小板減少症候群)



早期発見、早期治療が大切！！

タカサゴキララマダニ

問1:SFTSってどんな病気？

2011年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気で、6日～2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)をひき起こします。重症化すれば、死亡することもあります。

問2:どのように感染するの？

SFTSウイルスを保有しているマダニに刺咬されることにより感染します。マダニの中でも、病原体を保有しているマダニは極めてまれですが、発症すると重症化するので十分気をつけましょう。この病気を媒介するマダニは、家ダニなどとは違う種類で、10mmほどの野山に生息しているマダニです。

問3:どのように予防すればいいの？

マダニに刺咬されないことが重要です。草むらや山など、ダニが生息する場所に行く場合には、長袖・長ズボン・長靴、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出をできるだけ少なくすることが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られます。ペットなどの身近な動物にも気をつけましょう。屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか注意深く全身チェックしましょう。

問4:もしマダニに刺されたらどうしたらいいの？

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、口器の一部が皮内に残ってしまうことがあるので、医療機関で処置してもらってください。刺咬された後1～2週間、発熱、嘔気、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診してください。朝夕に体温を測り、裏面の体温表に記入し、熱が出たら直ぐに医療機関へ。

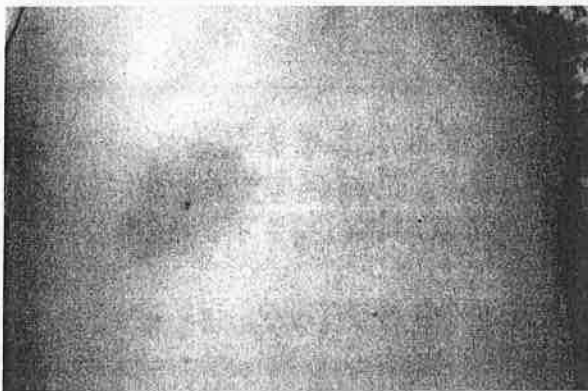
徳島県医学・感染症専門員 馬原 文彦先生監修

徳島県保健福祉部健康増進課感染症・疾病対策室

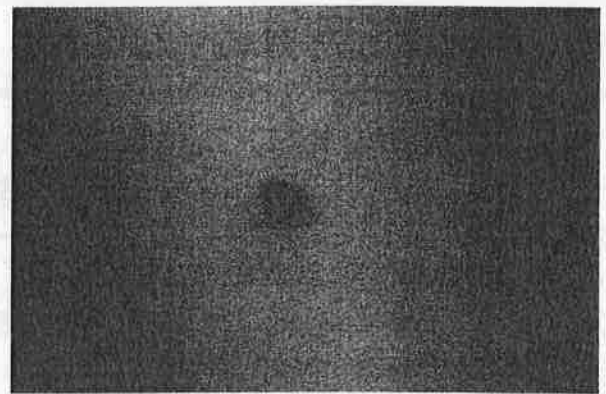
ダニに刺されたら1週間くらい朝夕に熱を測りましょう

ダニに刺された		姓名		体重 kg											
月	日	第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日	
		朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
体温															
40															
39															
38															
37															
36															
35															

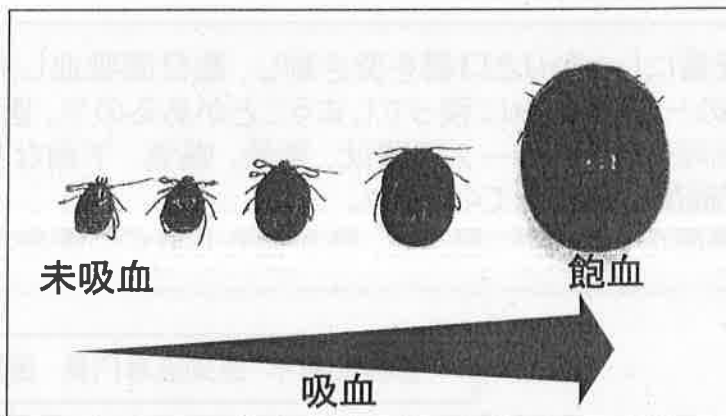
ヒトを刺咬しているマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



吸血すると3~15ミリ位に膨れる

(写真提供：馬原アカリ医学研究所)

熱中症に注意しましょう

2017年6月19日

熱中症に注意しましょう！
早めに、しっかり予防を！
—子ども、高齢者は特に注意！—

☆徳島県の現在の暑さ指数及び今後の暑さ指数予報はこちら☆

6月に入り、気温が高く、暑い日が増えてきました。
 これからの時期は、気温が高い日が続くことが予想されます。
 また、屋外だけではなく、屋内でも熱中症になってしまうことがあります。
 水分補給をするなどして、熱中症を予防しましょう！！

↓↓詳しくは総務省消防庁のホームページをご覧ください↓↓

☆【総務省消防庁】熱中症搬送状況(都道府県別)等はこちら☆

※暑さ指数とは、熱中症の発生しやすさとの関係がわかりやすい指標として、
 労働環境、運動時における熱中症予防の指針として活用されています。
 ★暑さ指数21～25度が注意の目安です。(日本体育協会熱中症予防のための運動指針より)★



従来、熱中症は、多くは高温環境下での労働や運動活動で発生していましたが、最近では日常生活においても発生が増加していると言われています。
 また、体温調節機能が低下している高齢者や、体温調節機能がまだ十分に発達していない小児・幼児は、成人よりも熱中症のリスクが高く、さらに注意が必要です。
 今夏も電力供給不足に備えた節電対策の実施が推進されておりますが、一方で行き過ぎた節電は熱中症等の健康被害を引きおこす恐れもあるため、節電対策を行う際にも、熱中症予防に充分にご注意ください。

◆熱中症とは

体の水分と塩分の不足で起こります。症状により、熱疲労(軽度)、熱痙攣(中等症)、熱射病(重症)に分類されます。
 初期の症状は、筋肉にけいれんや痛みを伴う症状があらわれます。症状がすすむと気を失ったり、吐

き気などの症状があらわれ、さらに重症になると意識がはっきりせず、汗が止まって体温が著しく上昇し、最悪の場合、死亡することもあります。

◆熱中症になりやすい人

子ども、高齢者、肥満の人、体調が悪い人、二日酔いの人 など

◆熱中症の予防のために

- 1 暑い場所での長時間の作業、運動はできるだけ避けましょう。
- 2 スポーツドリンクなど、水分をこまめにとるようにしましょう。
- 3 体調が悪いときは、無理をしないようにしましょう。
- 4 外出時は、帽子などを着用し、できるだけ直射日光を避けましょう。
- 5 首元を冷やすタオルやスカーフ等、熱中症対策グッズを有効利用しましょう。

◆熱中症かな？と思ったら

- 1 日差しをさけて、涼しいところに移動しましょう。
- 2 からだが暑いときは、冷たいタオルなどで冷やしましょう。(うなじ、脇の下、太股の付け根など)
- 3 スポーツドリンクなど、水分をとりましょう。

以上のことができない時は、またはあまり調子よくならない時は、**早めに医療機関を受診**することをおすすめします。

[環境省熱中症予防情報サイト](#)に「暑さ指数[※]」が掲載されていますので、当サイトをご参考に、熱中症予防に充分ご注意ください。

★その他の熱中症関連サイト★

[○熱中症を防ぐために～皆さまに取り組んでいただきたいこと～【厚生労働省】](#)

[○第1回熱中症対策に関する検討会【厚生労働省】](#)

[○職場における熱中症予防について【厚生労働省】](#)

[○健康のために水を飲もう推進運動【厚生労働省】](#)

[○学校安全Web 熱中症を予防しよう【独立行政法人日本スポーツ振興センター】](#)

[○職場の熱中症対策は万全ですか？【徳島労働局】](#)



[職場の熱中症対策は万全ですか？.pdf\(3MB\)](#)



[職場における熱中症死亡ゼロを目指して.pdf\(1MB\)](#) ← NEW



[職場における熱中症死亡ゼロを目指して\(詳細版\).pdf\(2MB\)](#) ← NEW

[○熱中症の予防対策を！【徳島労働局】](#)



[熱中症の予防対策を！.pdf\(2MB\)](#)



◆徳島県は熱中症予防声かけプロジェクトにも賛同しています◆

都道府県別熱中症による救急搬送状況

平成29年5月1日～6月11日(速報値)

発生場所ごとの項目(人)

都道府県	発生場所ごとの項目(人)								
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
1 北海道	25	6	10	5	4	12	8	12	82
2 青森県	4	3	2	1	1	4	2	1	18
3 岩手県	30	0	2	6	5	19	7	7	76
4 宮城県	25	4	4	6	2	23	9	5	78
5 秋田県	9	0	4	4	2	4	1	4	28
6 山形県	14	2	5	2	0	3	9	1	36
7 福島県	35	1	9	7	7	19	16	7	101
8 茨城県	34	6	3	17	8	24	7	4	103
9 栃木県	21	3	2	16	8	12	7	2	71
10 群馬県	26	9	2	14	8	14	12	8	93
11 埼玉県	100	11	4	52	22	41	47	20	297
12 千葉県	48	23	6	18	11	32	16	12	166
13 東京都	91	19	0	49	35	44	65	6	309
14 神奈川県	47	11	3	30	16	33	35	8	183
15 新潟県	12	3	4	12	5	16	15	6	73
16 富山県	6	3	2	3	2	5	6	7	34
17 石川県	5	0	1	22	0	2	3	4	37
18 福井県	6	0	3	5	2	4	7	1	28
19 山梨県	8	3	0	2	6	6	2	5	32
20 長野県	25	6	6	3	4	20	12	8	84
21 岐阜県	15	13	1	5	6	13	12	14	79
22 静岡県	18	5	1	8	8	25	10	6	81
23 愛知県	49	30	8	26	20	40	38	13	224
24 三重県	25	4	2	5	3	14	8	9	70
25 滋賀県	23	5	2	7	9	13	5	9	73
26 京都府	36	11	3	9	16	16	35	7	133
27 大阪府	50	19	3	35	11	28	45	13	204
28 兵庫県	56	6	10	23	11	38	32	19	195
29 奈良県	25	5	5	15	6	13	9	6	84
30 和歌山県	8	5	6	3	2	5	4	3	36
31 鳥取県	7	1	5	2	1	9	4	6	35
32 島根県	13	3	2	0	3	4	3	4	32
33 岡山県	45	9	7	8	8	16	27	13	133
34 広島県	34	5	1	9	11	14	18	9	101
35 山口県	10	2	2	3	3	15	7	2	44
36 徳島県	12	3	2	6	5	2	4	4	38
37 香川県	8	3	0	3	4	7	10	3	38
38 愛媛県	14	4	6	3	4	9	7	0	47
39 高知県	10	4	5	6	1	3	5	4	38
40 福岡県	54	8	4	44	9	17	22	15	173
41 佐賀県	15	3	8	5	4	12	6	4	57
42 長崎県	7	2	2	3	4	13	3	2	36
43 熊本県	34	5	4	18	13	25	12	8	119
44 大分県	24	5	2	8	8	13	8	4	72
45 宮崎県	24	3	3	3	4	8	5	8	58
46 鹿児島県	18	5	8	2	7	6	3	9	58
47 沖縄県	22	14	6	11	10	19	14	12	108
合計【人】	1,227	295	180	544	339	734	642	334	4,295
割合	28.6%	6.9%	4.2%	12.7%	7.9%	17.1%	14.9%	7.8%	100.0%

* 救急搬送状況は、最新のデータを使用していますが、あくまでも合計速報値です。後日修正されることもありますのでご了承ください。

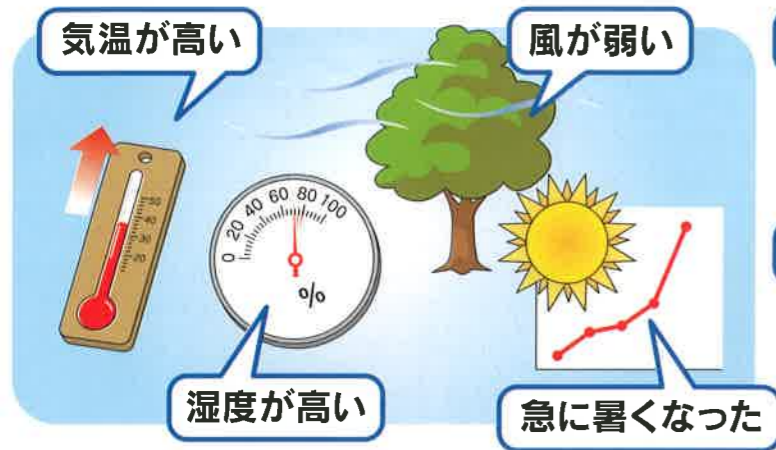
* 端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

(総務省消防庁HPより)

熱中症は予防が大切です

熱中症は気温などの環境条件だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

こんな日は熱中症に注意



こんな人は特に注意



熱中症の予防法

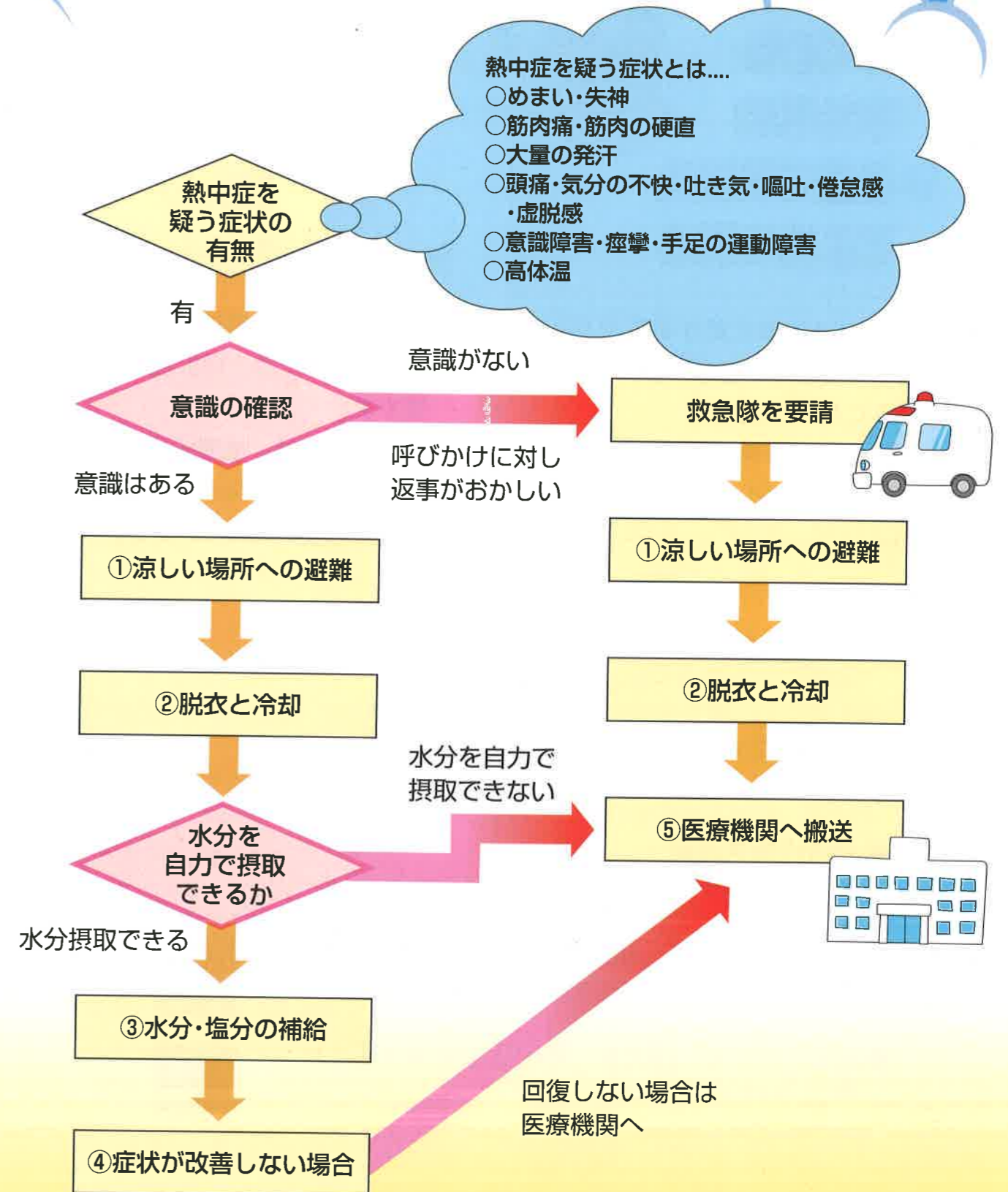


*急に暑くなった日や、活動の初日などは特に注意

人間の体は暑い環境での運動や作業を始めてから3~4日経たないと、体温調節が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調節が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。

*汗をかいた時には塩分の補給も忘れずに

熱中症になったときには



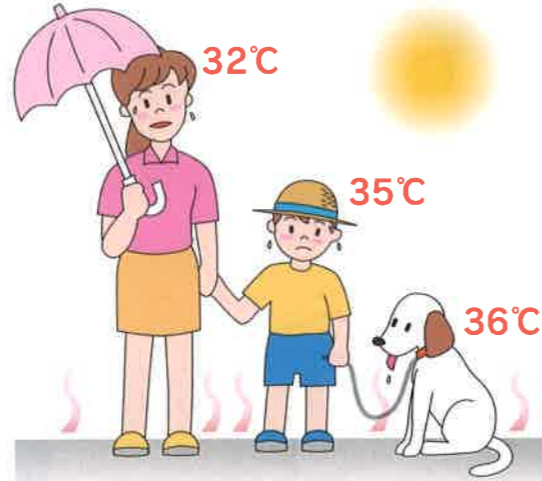
高齢者の注意点

- のどがかわかなくても水分補給
- 部屋の温度をこまめに測る



- 高齢者は温度に対する感覚が弱くなるために、室内でも熱中症になることがあります。
- 室内に温度計を置き、こまめに水分を補給することを心掛けましょう。

幼児は特に注意



- 幼児は体温調節機能が十分発達していないため、特に注意が必要です。
- 晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなるため、幼児は大人以上に暑い環境にいます。

熱中症

～ご存じですか？予防・対処法～

こんな症状があったら
熱中症を疑いましょう

軽

めまい
立ちくらみ
筋肉痛
汗がとまらない



中

頭痛
吐き気
体がだるい(倦怠感)
虚脱感



重

意識がない
けいれん
高い体温である
呼びかけに対し返事がおかしい
まっすぐに歩けない、走れない



◆環境省 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

◆熱中症環境保健マニュアル

http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php

◆熱中症患者速報

<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/spot/index.html>

◆スマートフォン版 環境省 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/sp>



◆携帯サイト版 環境省 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/kt>



環境省総合環境政策局環境保健部 環境安全課

〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館

TEL:03-3581-3351 (代表)

環境省